
「利用」されている幸せもの

劉微

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「利用」されている幸せもの

【Nコード】

N2321P

【作者名】

劉微

【あらすじ】

んーなんて言ったらいいのしょう…

少し残酷な結末ですね

君は、僕の何ですか？

何故わかったような口を聞くのですか？

僕は君を何とも思っていない

いや、むしろ憎んでいます

君の事が大嫌いなのです

そんな事も知らずに君は僕のすべてを知っているような口を聞きま
すね

友達？ふざけないで下さい

僕がいつ、友達と言ったのですか？

僕は知っていますよ

君が、僕の事をなんて言っているのか

君は僕を

友達がいらない可哀想な子。しょうがないからかまってあげてる

と言いましたね？

君は神にでもなったつもりですか？

知っていますか？

君のような人を、偽善者と言うのですよ？

優しいとでも言われたいのですか？

優しいと偽善は違うのですよ？

可哀想な子？

僕がいつ、同情してくれと頼みましたか？

馴れ馴れしく僕を呼ばないで下さい

無理矢理話にいれないで下さい

僕は、一人でいいのです

あと、君は少しだけ誤解をしていますね

僕は友達なら沢山いますよ

そう、君が友達だと思っている人はすべて、僕の友達です

まだ気づかないんでしょうかねえ

利用されている事

まあ、気づかないのも君の為でしょう

君が気づいてしまった時の顔を想像するだけで笑ってしまいますよ

君は、幸せ者なので

君が自分で気づいてしまっただろうと気づかずに

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2321p/>

「利用」されている幸せもの

2010年12月1日06時21分発行